

6月6日(金)に開会された平成26年第2回名寄市議会定例会において、加藤市長が今年度の市政運営の方針について、小野教育長が教育行政運営の方針について述べました。(本紙では概要を掲載します)

# 市政執行方針

## 明るく元気なまちづくりの推進へ

我が国においては、景気の緩やかな回復が見られるものの、本市のような地方都市においては、景気回復の実感がわかないのが実情です。また、5月に「日本創生会議」が発表した試算によると、今後30年間で、20歳代、30歳代の女性が半減する自治体が、道内で147市区町村にも達するとされており、本市においても32・5%が減少すると試算されています。人口の減少や高齢化が進展する一方で、社会保障関連経費は年々増大し、今年度末には国の長期債務残高が1千兆円の大台を超える見込みとなっているなど、今後、地方自治体の運営は厳しい状況が続くと想定されるところです。

こうした状況を踏まえ、10年先、20年先を見据えて、健全な財政運営を基調に、基礎自治体として調和のあるまちづくりを進めるため、総合計画を政策の基本としながら、効果的、効率的な市政運営に努めます。また、民間の発想力とスピード感を持って、地域の資源と特性を活かしながら、明るく元気なまちづくりの着実な推進に努めてまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



◀ もつともち米プロジェクト



# 平成26年度の おもな取り組み

## 市民と行政の協働によるまちづくり

- |  |   |  |
|--|---|--|
| <b>交流活動</b>  | <b>コミュニティ活動</b>   | <b>広域行政・健全財政・行政運営</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外との交流</li> <li>・地域おこし協力隊</li> <li>・ちょっと暮らし体験施設の整備</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり推進事業</li> <li>・地域連絡協議会交付金</li> <li>・町内会活動支援</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・テッシ・オ・ペッ賑わい創出協議会</li> <li>・市ホームページの刷新</li> <li>・職員研修の拡充</li> </ul> |
- 市民参画・健全財政**

## 心豊かな人と文化を育むまちづくり

- |   |   |  |
|---|---|--|
| <b>地域文化の継承と創造</b>   | <b>大学教育</b>   | <b>青少年の健全育成</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ホール「EN-<small>エン</small>RAY」整備</li> <li>・舞台芸術劇場補助金</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学図書館建設実施設計</li> <li>・精神保健福祉士養成課程設置</li> <li>・公開講座</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブおよび学童保育の適正配置や環境整備</li> </ul> |

**教育・文化・スポーツ**

## 安心して健やかに暮らせるまちづくり

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <b>地域福祉・高齢者福祉</b>  | <b>子育て支援</b>  | <b>地域医療</b>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期、高齢者保健医療福祉計画</li> <li>・障がい者福祉実施計画の策定</li> <li>・医療バス等運行</li> <li>・命のカプセル</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども・子育て支援事業計画策定</li> <li>・乳幼児医療給付の独自拡大</li> <li>・子育て応援事業</li> <li>・親子バスツアー</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立総合病院精神科病棟運用および駐車場整備など</li> <li>・市立総合病院施設整備</li> </ul> |

**保健・医療・福祉**

## 創造力と活力にあふれたまちづくり

- |  |  |  |
|--|--|--|
| <b>農業・林業</b>   | <b>商業・雇用</b>   | <b>観光・移住促進</b>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっともち米プロジェクト</li> <li>・薬用植物振興</li> <li>・農業担い手支援</li> <li>・優良後継牛対策</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業振興条例の見直し検討</li> <li>・よろーな管理運営事業（賑わいづくり事業委託）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわり観光推進</li> <li>・ご当地グルメ推進</li> <li>・合宿推進</li> <li>・日本ハムファイターズ応援大使</li> <li>・ひまわりリレーラン</li> </ul> |

**産業振興**

## 自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり

- |  |   |  |
|--|---|--|
| <b>消防・防災</b>   | <b>循環型社会形成</b>  | <b>都市環境整備</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防・救急無線デジタル化事業</li> <li>・防災コミュニティ通信事業</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物最終処分場建設事業</li> <li>・小型家電リサイクル</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひと・ほし・環境にやさしい灯り事業</li> <li>・地域交通対策</li> <li>・北斗・新北斗公営住宅建設</li> </ul> |

**生活環境・都市基盤**



◀子育て支援の拡充



◀台湾との交流（国際交流）





# 教育執行方針

## 心豊かな人と文化を育むまちづくり



市教育委員会では、国で策定された第2期教育振興基本計画や北海道教育委員会の「自立と共生」を基本理念とした北海道教育推進計画に基づき、「心豊かな人と文化を育むまちづくり」を教育・文化・スポーツ分野における基本目標として、市民の期待と信頼に応える教育行政を推進してまいります。

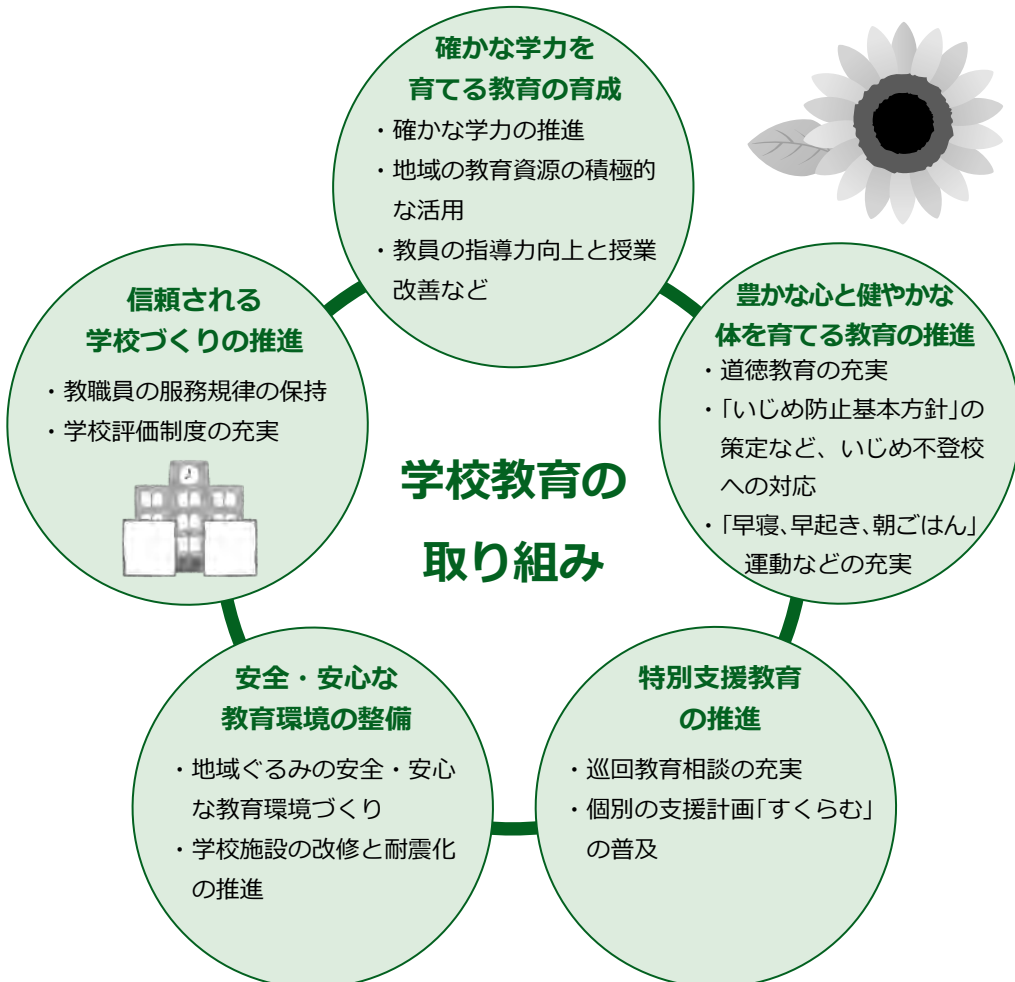
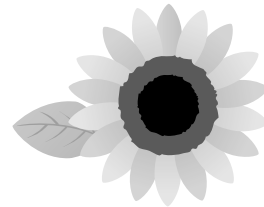
本市は、幼稚園、小・中学校、高等学校、市立大学を抱える教育都市であり、将来の地域を支える人材を育てる大きな役割と責任を担っています。

市教育委員会としては、これまで以上に学校、家庭、地域社会と連携を深めながら、本市の教育の振興と発展に誠心誠意努力してまいります。



### 学校教育

学校教育では、平成26年度名寄市学校教育推進計画に基づき、学習指導要領の理念である「生きる力」を育てるために、学校と家庭、地域が一体となった教育活動の推進を目指し、次の5つの重点的な取り組みを進めてまいります。







**生涯学習機会の提供**

- ・市民講座の充実など
- ・図書館機能の充実と読み聞かせ活動の推進
- ・小惑星発見プロジェクトの充実

**青少年の健全育成**

- ・へっちゃんLANDの実施や杉並区の子どもたちとの交流
- ・青少年の問題行動の未然防止や適切な指導
- ・放課後子ども教室など、学習習慣の定着

**豊かな地域文化の継承と創造**

- ・文化振興条例の制定
- ・市民ホール「<sup>エンレイ</sup>EN-RAY」の整備
- ・名寄岩の生誕100年に関連した記念展の開催

**社会教育の取り組み**

**生涯スポーツの振興**

- ・スポーツ施設の環境整備
- ・スポーツ人口の拡大や各種スポーツ大会の支援など

**家庭教育の推進**

- ・家庭教育支援講座の実施
- ・「家庭教育サポート企業制度」の啓発



**社会教育**

社会教育では、平成26年度名寄市社会教育の重点に基づき、市民が生きがいのある人生を送ることができる生涯学習社会の実現を目指し、5つの重点的な取り組みを進めてまいります。



# 平成26年度肉付け予算に伴うおもな事業

平成26年度の名寄市の予算は、本紙4月号でお知らせしましたが、4月に市長選挙を控えていたことから、1年間の行政活動経費を全て計上する「通年予算」ではなく、「骨格予算」として編成していました。

今回、6月議会において加藤市長の公約を含めた政策的な予算（肉付け予算）を提案し可決されましたので、その一部を紹介します。

## ホームページ更新事業

総務費

新規事業

1,100万円

現在の市ホームページは平成21年に更新されたもので、すでに5年が経過しています。機器更新とともに、より使いやすいホームページをつくります。

- ①案内機能を強化し、より検索しやすいものにします。
- ②高齢者、障がい者の方に配慮したものにします。
- ③スマートフォンへの対応をはかります。

## 台湾交流事業

総務費

継続事業

528万6千円

当初予算では台湾野球少年団との交流事業を計上したところですが、肉付け予算では、教育旅行誘致を中心とした経費を計上しています。

- ①日本政府観光局負担金 5万円
- ②名寄市・台湾交流実行委員会補助金 287万6千円
- ③教育旅行アドバイザー謝礼 18万4千円

## 乳幼児等医療給付事業

民生費

継続事業(拡充)

4,792万円

本市では、北海道基準にあわせて乳幼児等医療費助成を実施してきました。

国が消費税を財源とした社会保障に取り組むことを踏まえ、肉付け予算では、子育て支援に独自の拡大策を打ち出しました。

比較的年齢が若い就学前児童の保護者に対してサービスの拡大を図り、子どもが健康に過ごせる環境を提供します。就学前児童については、入院・通院費用とも無料とし、小学生については入院費用を無料にします。

## もっちもち米プロジェクト事業

農林業費

継続事業

536万5千円

市民との協働による「もち米の里なよろ」の形成を目的として「もっちもち米プロジェクト」の展開を推進し、もち米の消費拡大と名寄産もち米のブランド化を通じた経済的な効果を目指します。

- ①市民の誇りづくり
  - ②まちのもち食文化づくり
  - ③もち米の新たなマーケットづくり
  - ④プロモーションの展開と名寄のファン（交流人口）づくり
- これら4項目を柱として、5カ年の継続事業として取り組みます。



### 優良後継牛対策事業補助金

農林業費

新規事業

60万円



性選別受精による雌牛の生産拡大について助成します。安定的な生乳生産の基盤づくりと、出荷量の拡大を目標とします。

従来受精単価が高価であったため、取り組む畜産農家が少なかったものですが、道北なよろ農業協同組合との協調補助により、利用の拡大を図ります。

※該当牛について、1～2回目までを補助対象とします。

### 徳田地区流域排水整備事業

土木費

新規事業

3,800万円

徳田地区の豊栄川流域は、大雨時にたびたび氾濫し、周辺に被害を及ぼしてきた経緯があります。今回、北海道の事業により遊水地が整備されることにあわせて、名寄産業高校敷地や旧国鉄敷地からの排水能力を高め、災害を未然に防止する工事を実施します。



### ひと・ほし・環境にやさしい灯り事業

土木費

新規事業

3,003万円

交通量の多い幹線道路では街路灯整備が進んでいますが、それ以外は旧来の「丸傘に白熱球・水銀灯」といった防犯灯で、寿命が約3年と短く、また照度も低下していることから、これらを長寿命で電気料も安価な「LED防犯灯」に切り替える事業です。

ただし、対象範囲が広いため、2カ年で優先的に通学路と大通りの外灯からの着手を予定しています。LED照明により光の拡散を防ぎ、市立天文台「きたすばる」での良好な観測環境にも配慮します。

### 舞台芸術劇場補助金

教育費

継続事業

280万円

平成27年5月オープンを目指し、市民ホール「<sup>エンレイ</sup>EN-RAY」の建設を進めています。

新施設では、地方においても中央と同じような舞台芸術に親しむ機会を提供するとともに、市民自らが企画し、参加する「地域に根差した文化の創造」を図る必要があります。

このため、同補助金に平成27年に予定されている市民による文化事業への補助等を追加し、活気あるホール運営を目指します。肉付け予算では事業4本分で160万円を追加します。

### 合宿推進事業費

教育費

新規事業

230万円

過去には、スキー競技を中心に約6,000人の合宿利用がありましたが、近年はその半分を割り込む利用状況にあります。

また、平成28年度から、本市でスキーノルディック競技によるジュニアオリンピックの開催が決定しており、ウィンタースポーツを主体に合宿利用推進に向けた取り組みを進めます。

現状分析と課題解決に向けた方策を検討する事業とし、地域に対する効果も多方面から検討します。